

# 令和5年度学校保健委員会



令和5年8月30日  
石神井東小学校

# I 定期健康診断結果より

## 1 身体測定結果（練馬区との比較）

区 分		身長 (cm)			体重 (kg)		
		練馬区	本校	差	練馬区	本校	差
男	1年	117.4	118.2	0.8	21.9	21.6	▼ -0.3
	2年	123.0	123.0	0.0	24.5	24.4	▼ -0.1
	3年	128.8	129.5	0.7	27.6	28.9	1.3
	4年	134.4	135.3	0.9	31.4	32.4	1.0
	5年	139.7	140.5	0.8	34.9	37.2	2.3
	6年	146.3	145.1	▼ -1.2	39.6	38.4	▼ -1.2
女	1年	116.2	115.6	▼ -0.6	21.2	20.8	▼ -0.4
	2年	122.1	122.9	0.8	23.8	24.3	0.5
	3年	128.2	126.8	▼ -1.4	27.1	25.7	▼ -1.4
	4年	134.5	134.5	0.0	30.6	31.5	0.9
	5年	141.4	141.0	▼ -0.4	35.1	33.4	▼ -1.7
	6年	147.9	148.1	0.2	40.0	38.8	▼ -1.2

\*練馬区の値は、令和4年度のもの

▼黄色は、練馬区平均より下まわっている



## 2 内科検診

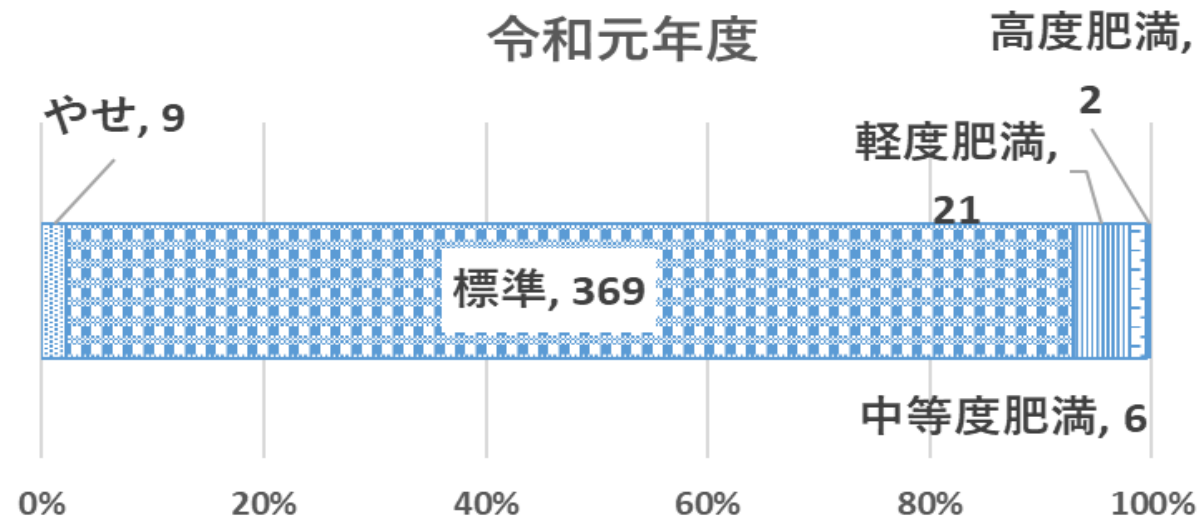
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
結核検診精密検査対象者	0	0	0	0	0	0	0
心臓検診二次・精密検査対象者	2	0	0	0	0	0	2
腎臓検診二次検査対象者	1	2	0	2	2	1	8
脊柱側わん症検診対象者	0	0	0	0	0	1	1
四肢の状態 *	0	0	1	0	0	0	1
生活習慣病検査対象者 **	0	2	1	1	1	1	6
★アトピー性皮膚炎 ***	5	5	3	5	4	1	<b>23</b>
★気管支ぜんそく ***	1	6	3	3	2	3	<b>18</b>
★食物アレルギー（給食対応）	3	5	7	2	4	1	<b>22</b>

- ▶ ★アレルギー疾患が多い。（全児童数 409名）
- ▶ \*保健調査票で保護者にチェックされた子を校医が確認。 \*\*肥満度40%以上
- ▶ \*\*\*1年以内に症状が出たもの（保健調査票より）

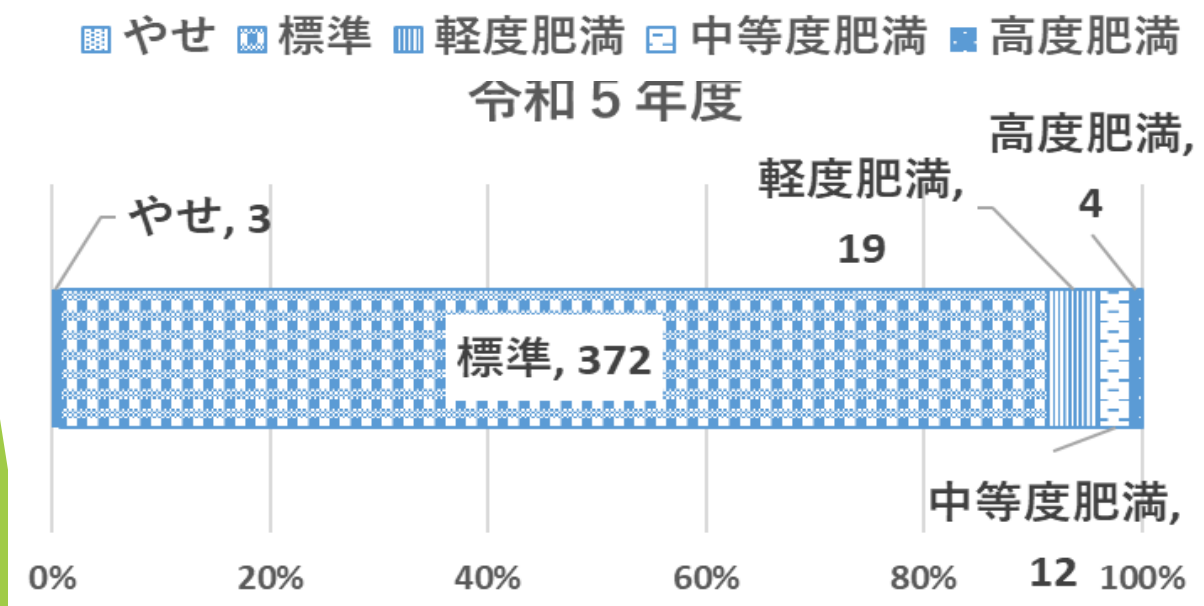


# 3 肥満傾向

\* 肥満度 (%) = (体重 - 標準体重) ÷ 標準体重 × 100



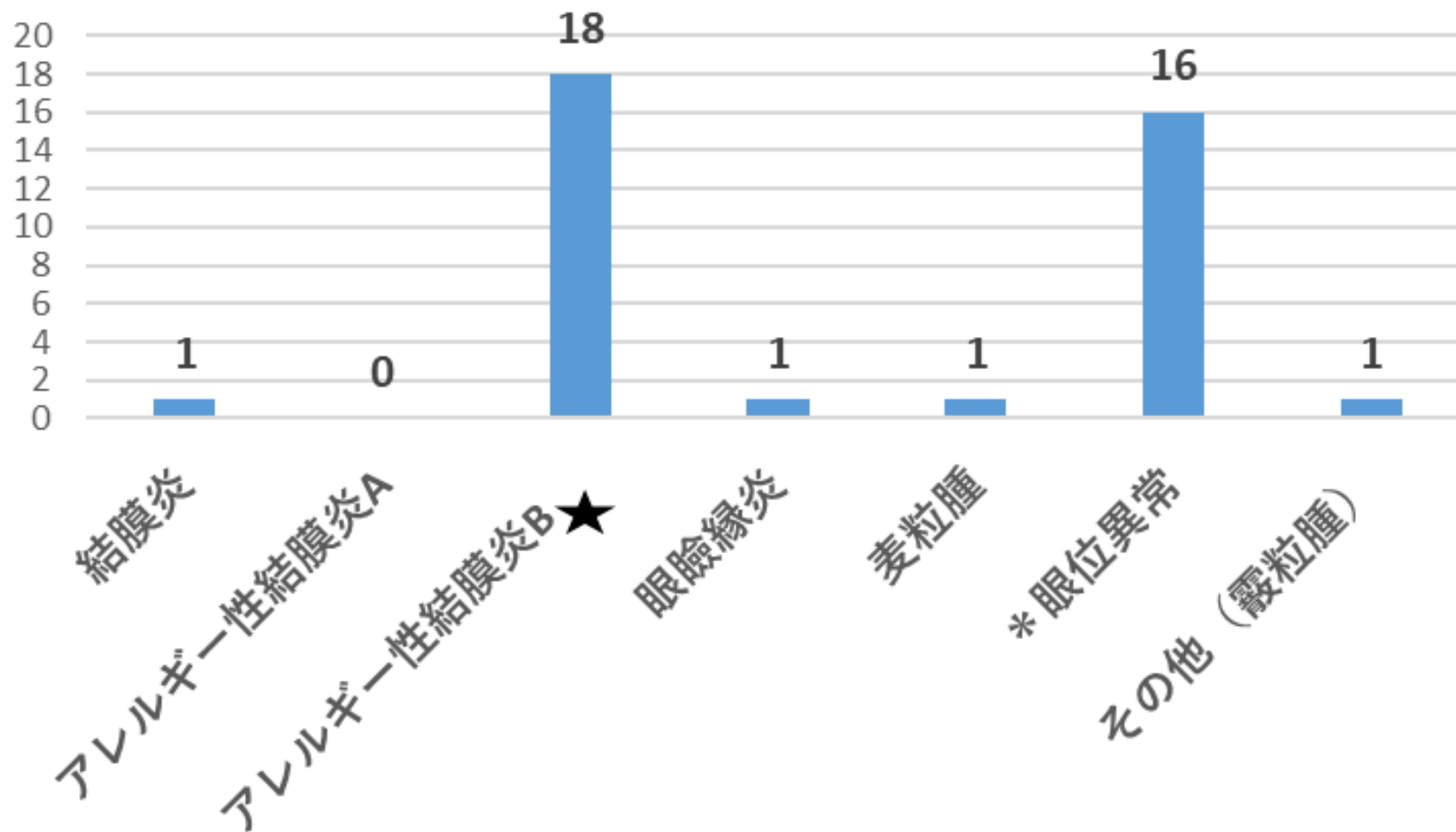
やせ：-20%以下  
 標準：-19.9~+19.9%  
 軽度肥満：+20~+29.9%  
 中等度肥満：+30~+49.9%  
 高度肥満：+50%以上



令和元年度（コロナ前）と比較すると  
 中等度以上の肥満がわずかに増加。  
 昨年と同様の結果であった。

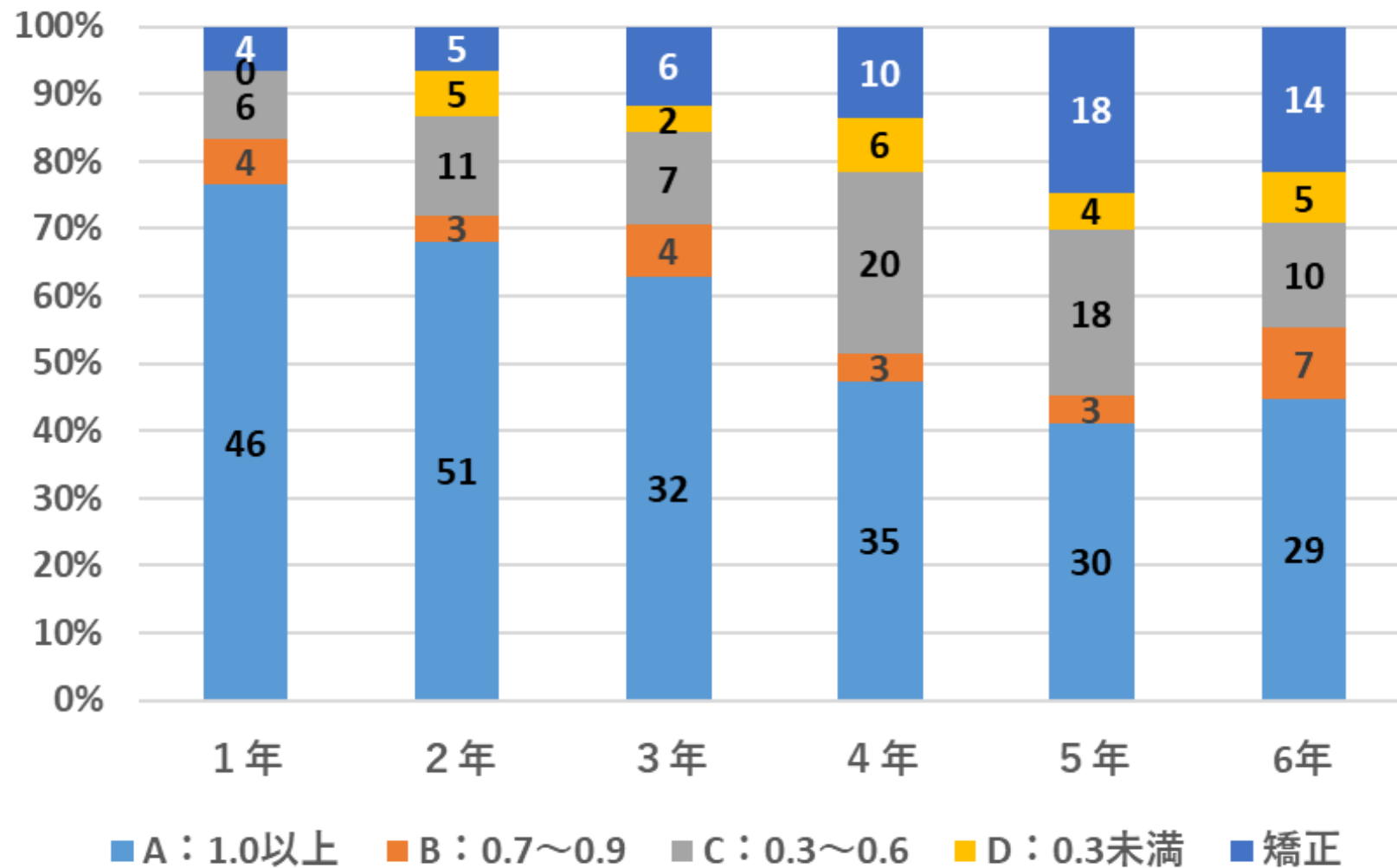
■ やせ ■ 標準 ■ 軽度肥満 ■ 中等度肥満 ■ 高度肥満

# 4 眼科検診

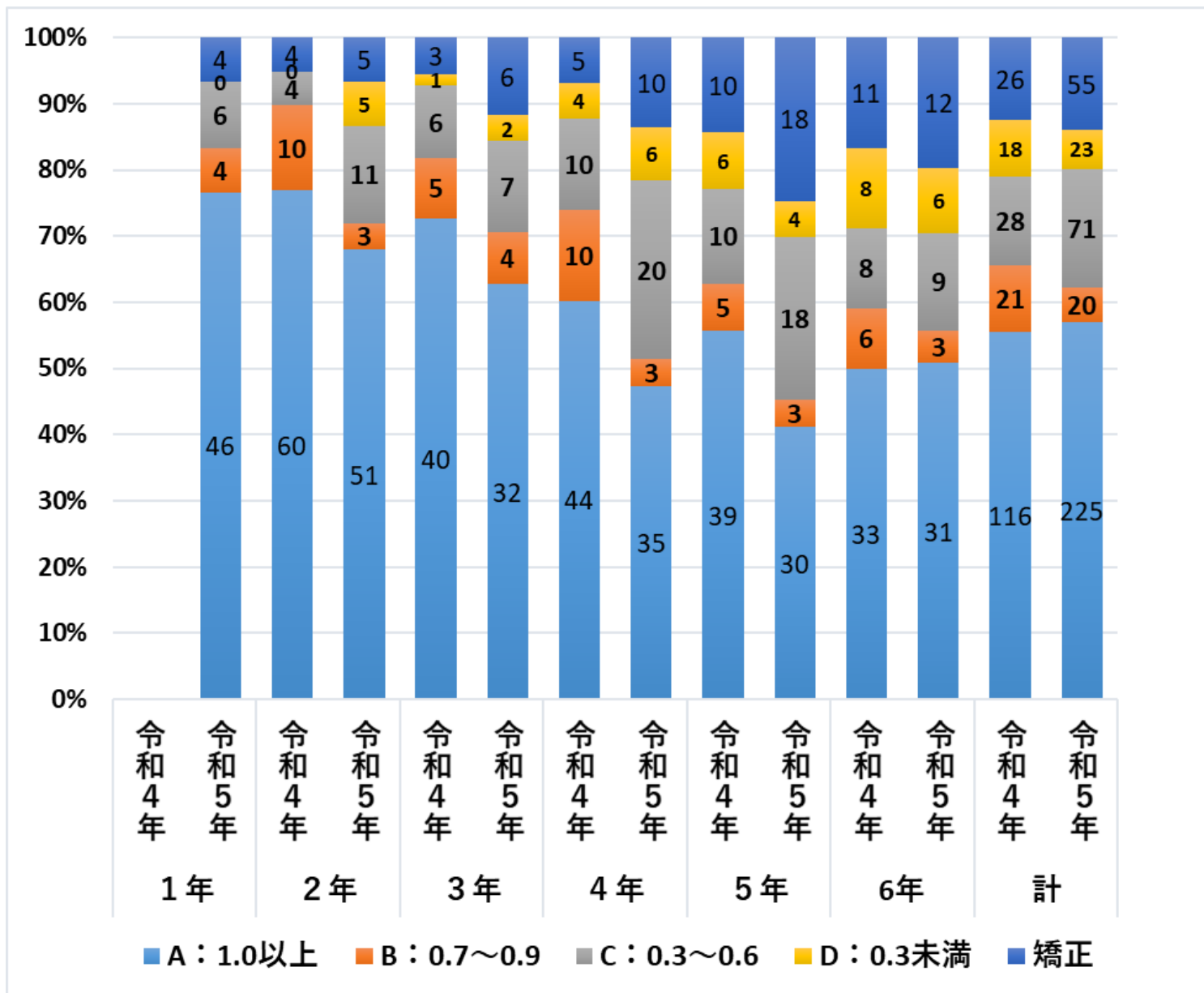


- ▶ \*\*\* 1年以内に症状が出たものも含む（保健調査票より）
- ▶ ★アレルギー性結膜炎B(症状悪化時受診) が昨年同様で多い。
- ▶ 眼位異常は、間欠性外斜視がほとんどであった。

# 5 視力検査



学年が上がると視力の方は下がっていく傾向がうかがえる。これは、毎年の傾向となっている。

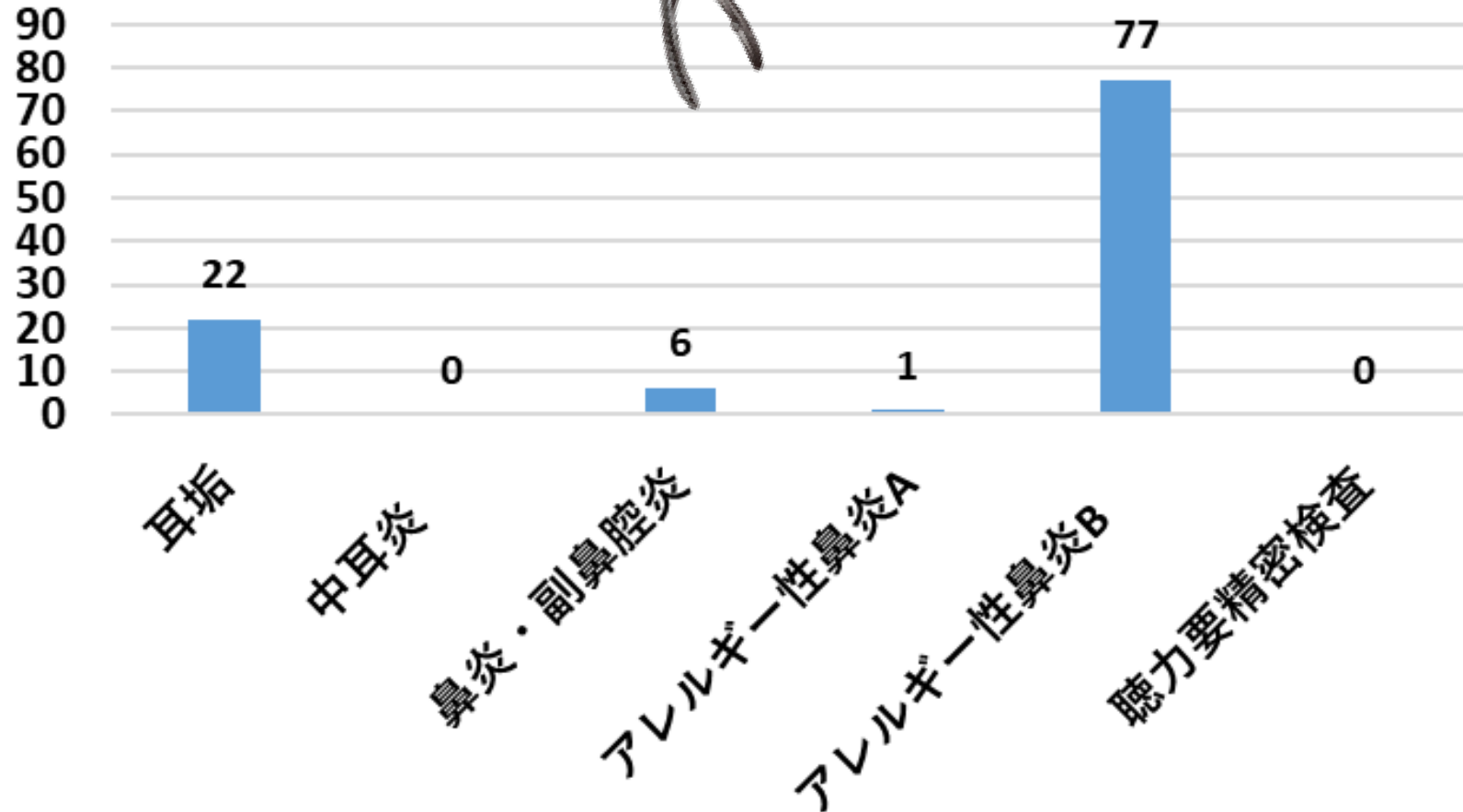


昨年のデータと比較すると2年・3年・4年・5年生の視力が低下が大きい。  
 (両眼A(1.0)の子が少なくなっている)

# 6 耳鼻科検診



(人)



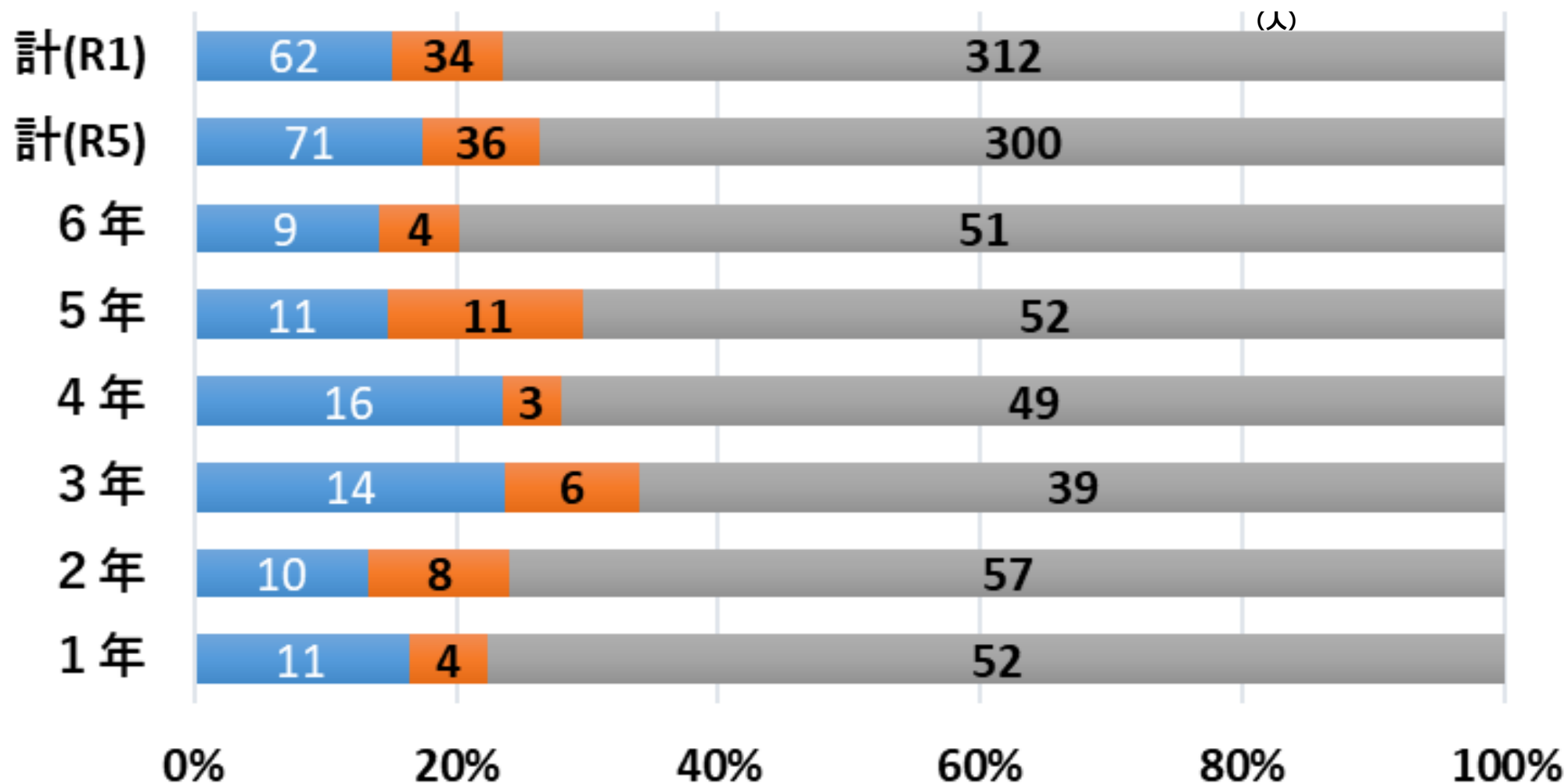
\*\*\* 1年以内に症状が出たものも含む（保健調査票より）

★アレルギー性鼻炎B（症状悪化時受診）が昨年より多くなっている。2割弱がアレルギー性鼻炎の既往あり。（昨年は、46名）



# 7 歯科検診・・・1) 乳歯・永久歯のむし歯

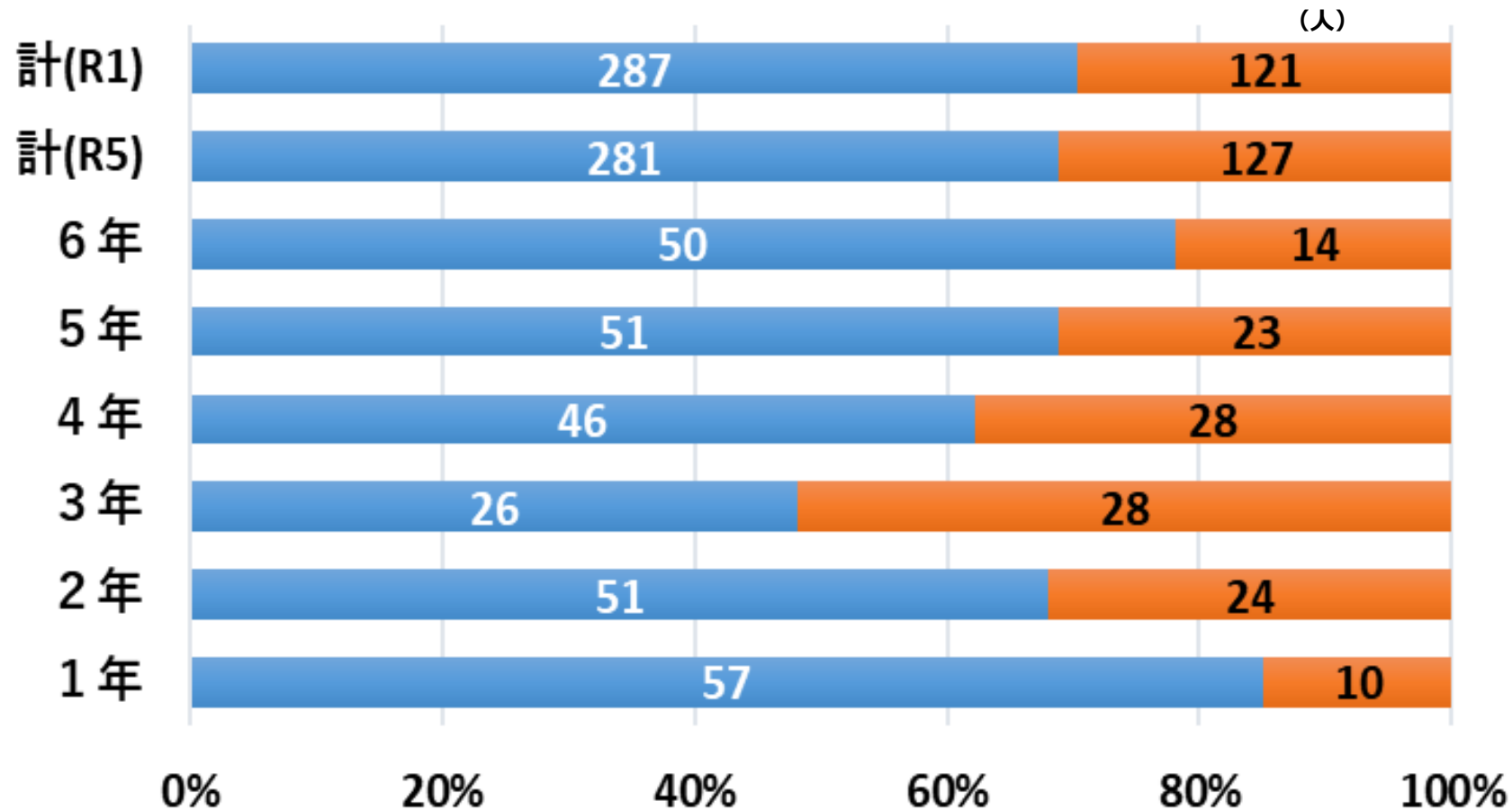
■ むし歯あり ■ むし歯なし（処置歯あり） ■ むし歯なし



3・4年でむし歯ありの割合が高くなっている。コロナ前と比較すると若干むし歯が増えている。

# 7 歯科検診・・・ 2) 歯垢の状態

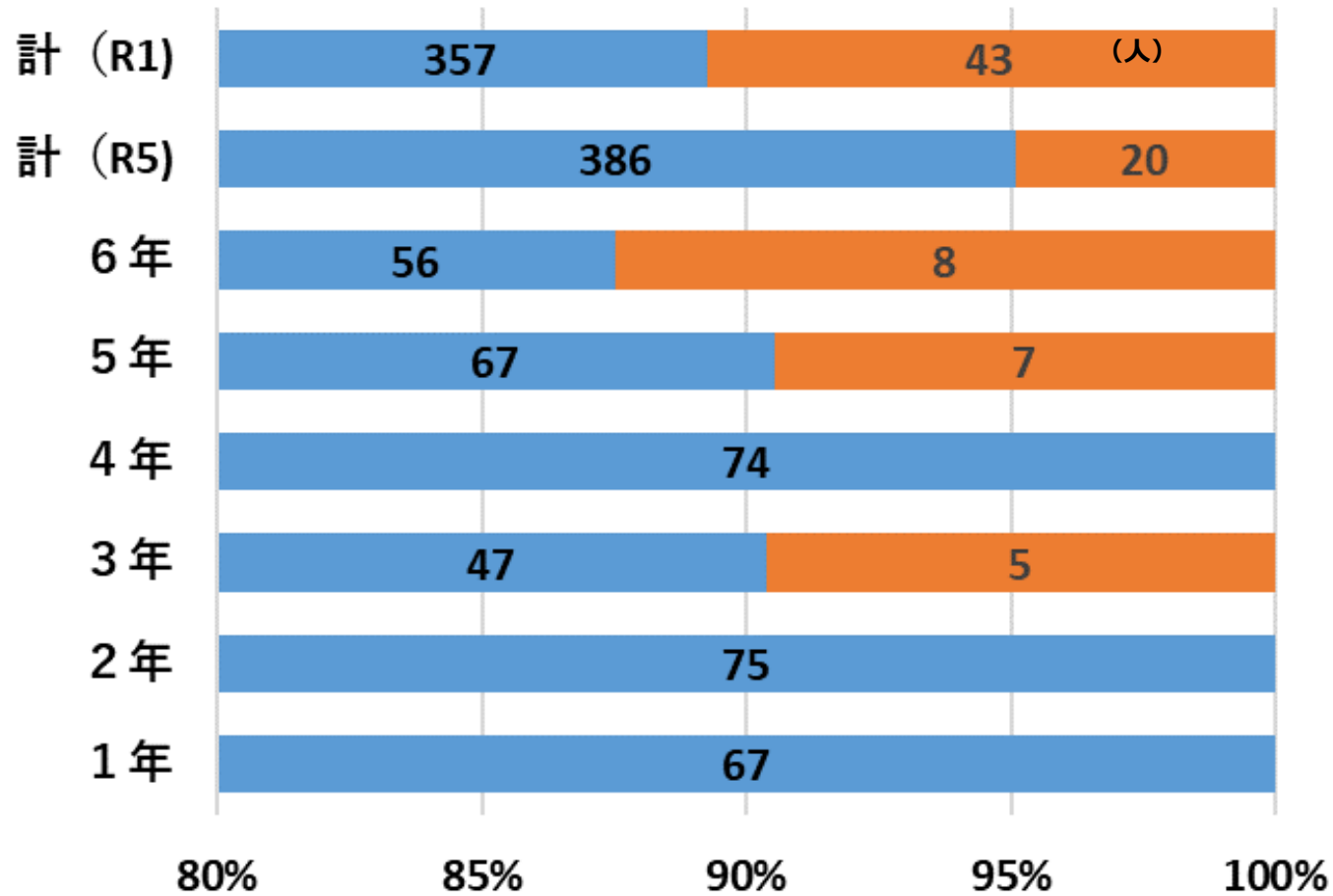
■ 異常なし ■ 若干付着 ■ 相当付着



相当付着は0。若干付着は、3・4年生の割合が昨年と同様多い。乳歯から永久歯への生え変わりの時期であり、ブラッシングのしにくさの影響が考えられる。全体では、コロナ前と比較すると若干付着がやや増加。

# 7 歯科検診・・・3) 歯肉の状態

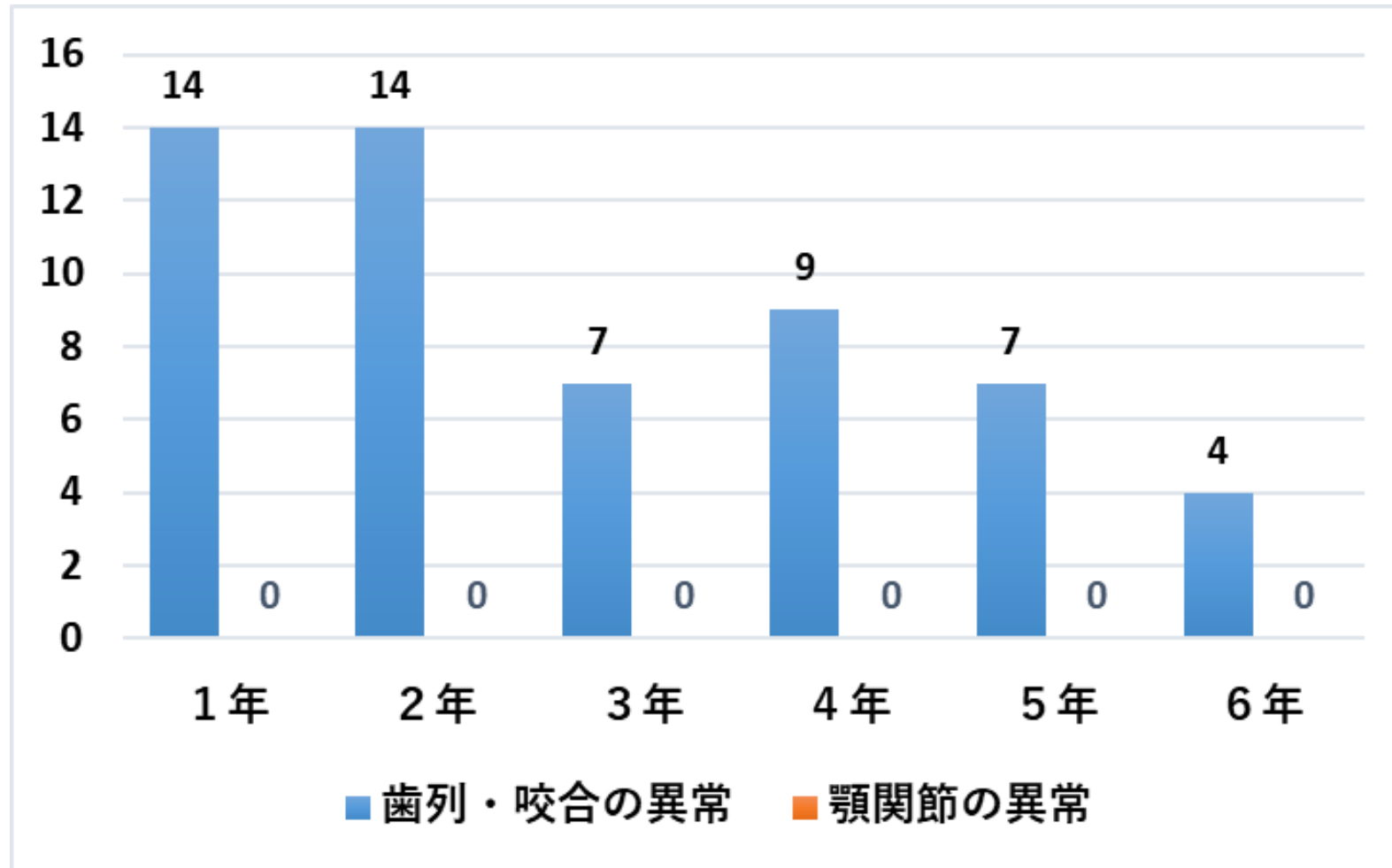
■ 異常なし ■ 歯周疾患要観察 ■ 歯周疾患



歯周疾患0。歯周疾患要観察者は、5・6年生の割合が高くなっている。1・2・4年生では、0なので、全体では、コロナ前との比較では、増加する傾向は、なかった。

# 7 歯科検診・・・4) 歯列・咬合・顎関節

(人)

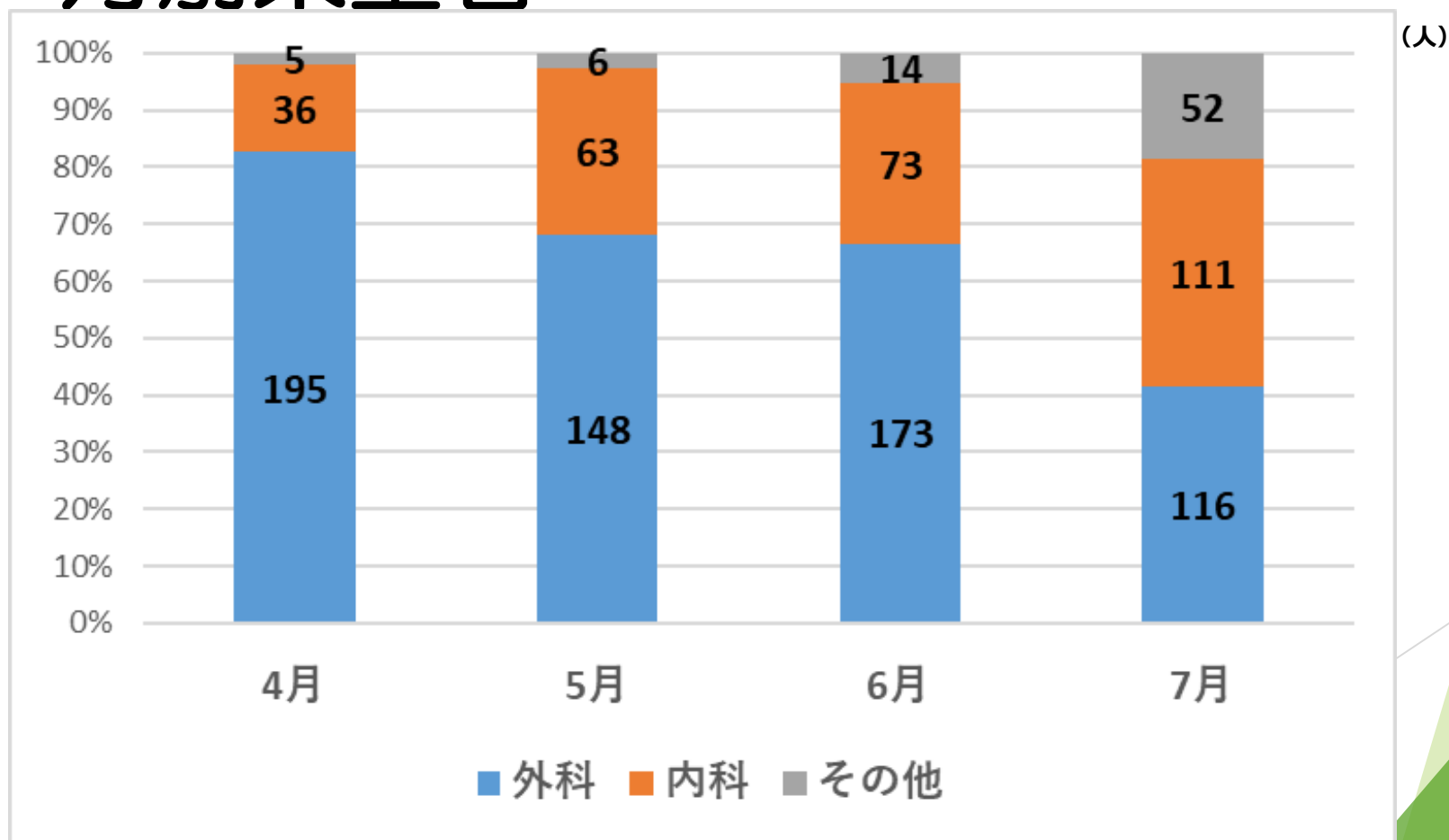


1年→2年で歯列・咬合の異常の指摘が多くなっているが、受診後は、ほとんど経過観察となっている。

# Ⅱ 保健室来室状況

(4月7日～7月20日 総計992人)  
(昨年 1学期 総計755人)

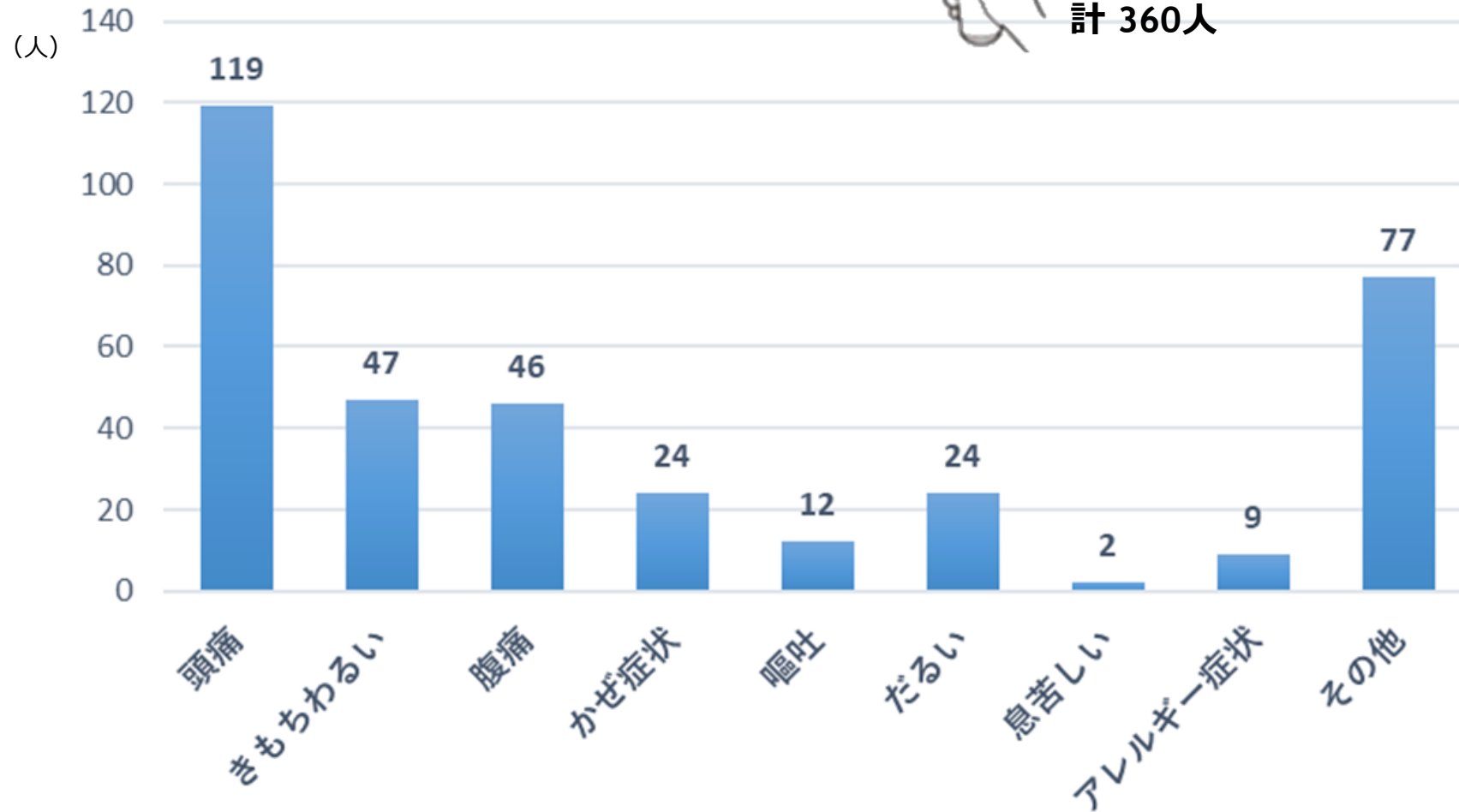
## 1 月別来室者



## 2 内科的来室状況



計 360人

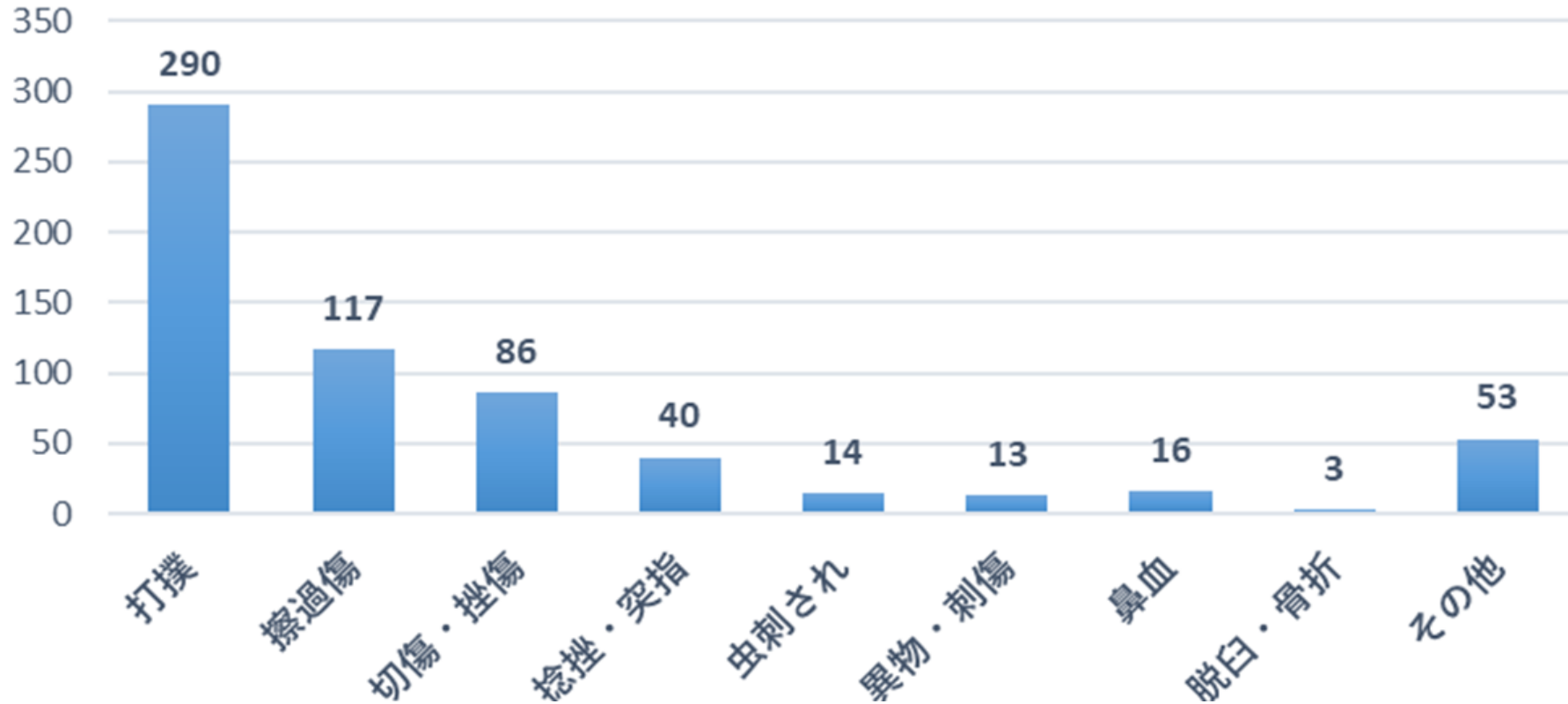


「頭痛」「きもちわるい」「腹痛」が内科的三大症状。感染症疑い（コロナ・インフルエンザ・かぜ等）・熱中症症状疑い・片頭痛・心因性など原因は、様々である。片頭痛と考えられる来室は、6月が多かった。

### 3 外科的来室状況



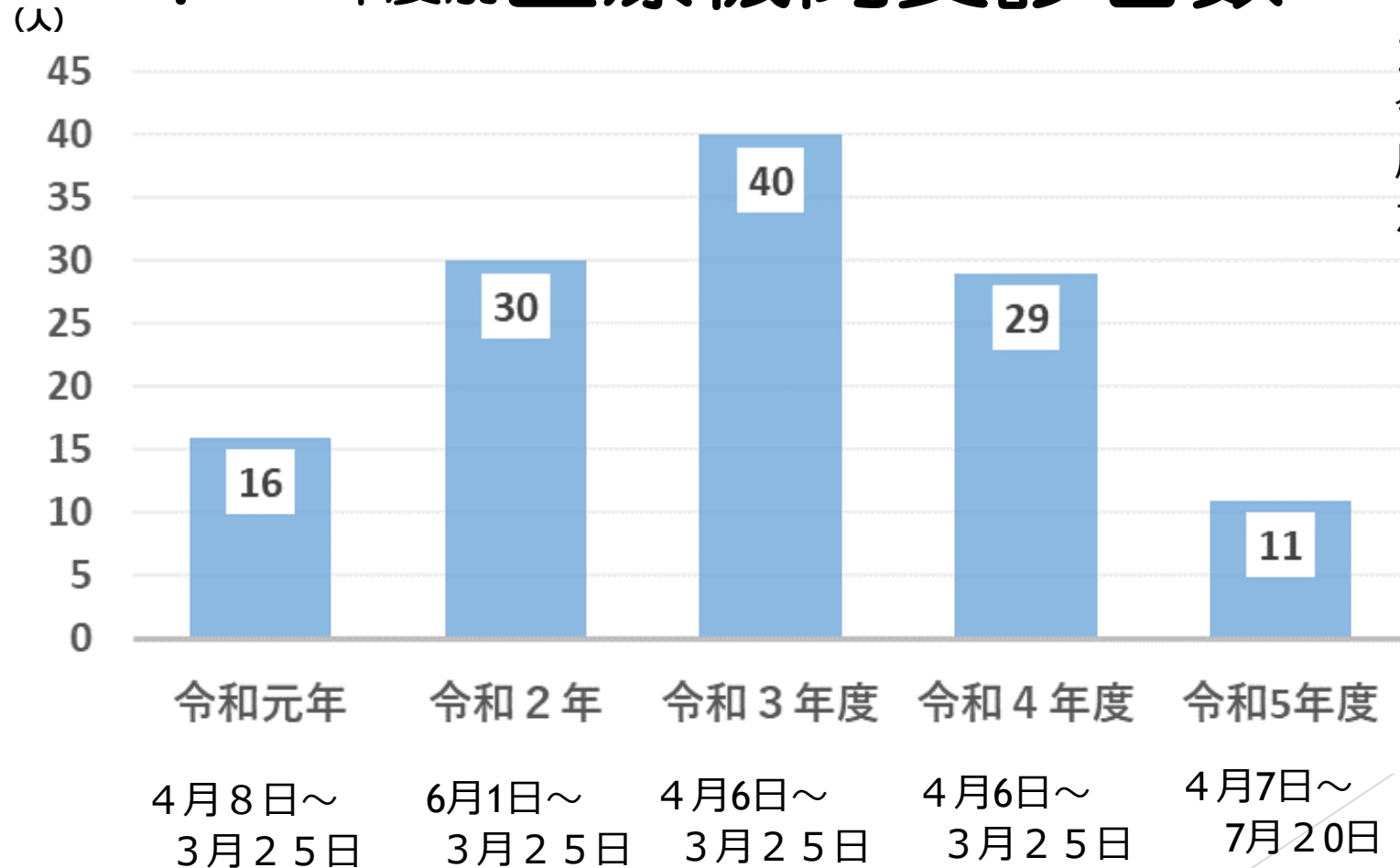
計 632人



打撲（手足・頭・顔面・歯・口・眼等）・擦過傷・切傷が多い。医療機関に受診にいたらないちょっとした日常的なけがが多い。昨年より増加した。

# Ⅲ 医療機関受診状況

## 1 年度別医療機関受診者数

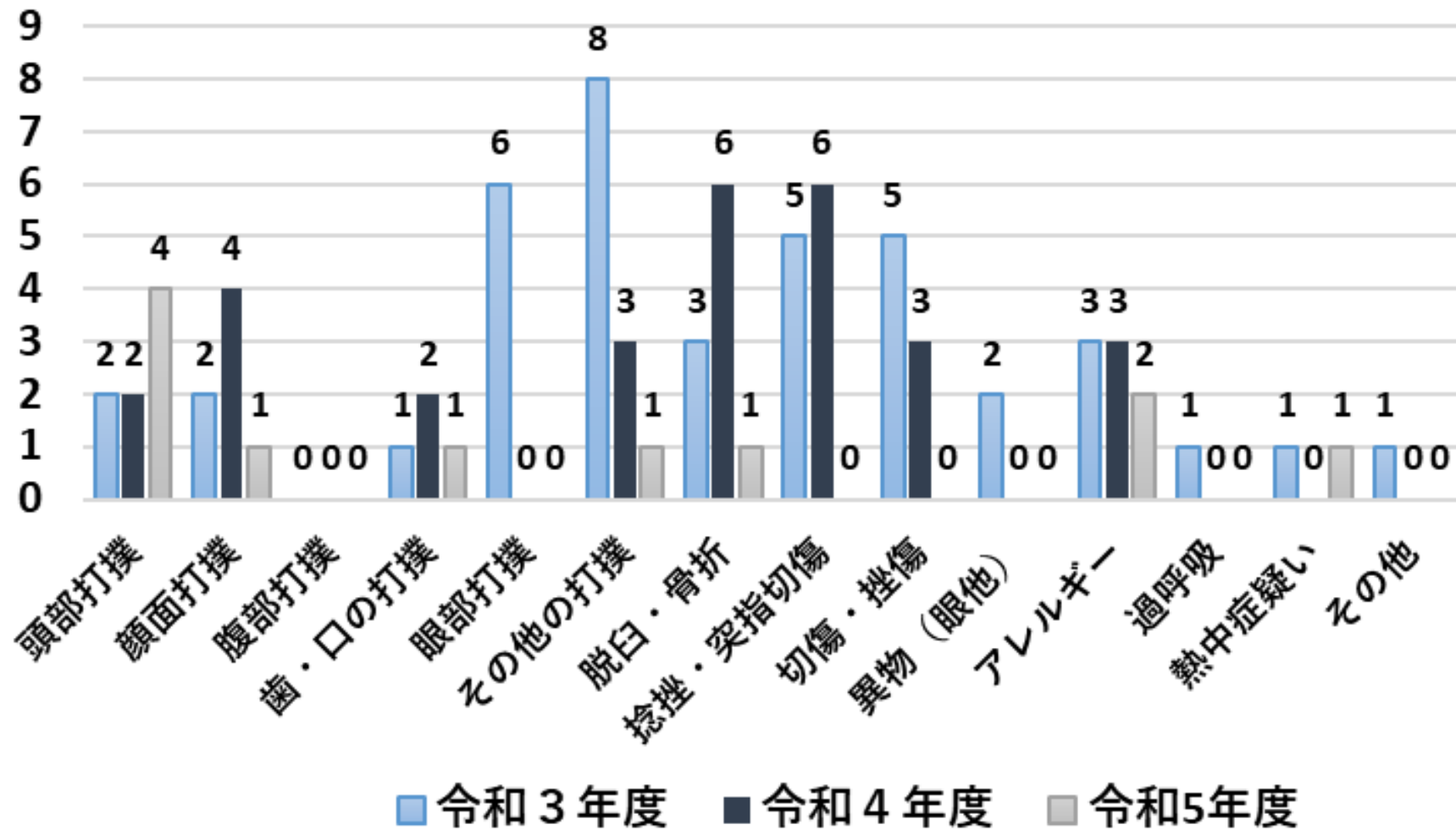


コロナ前の令和元年度より  
令和2年度・3年度・4年  
度の医療機関受診者は、多  
かった。

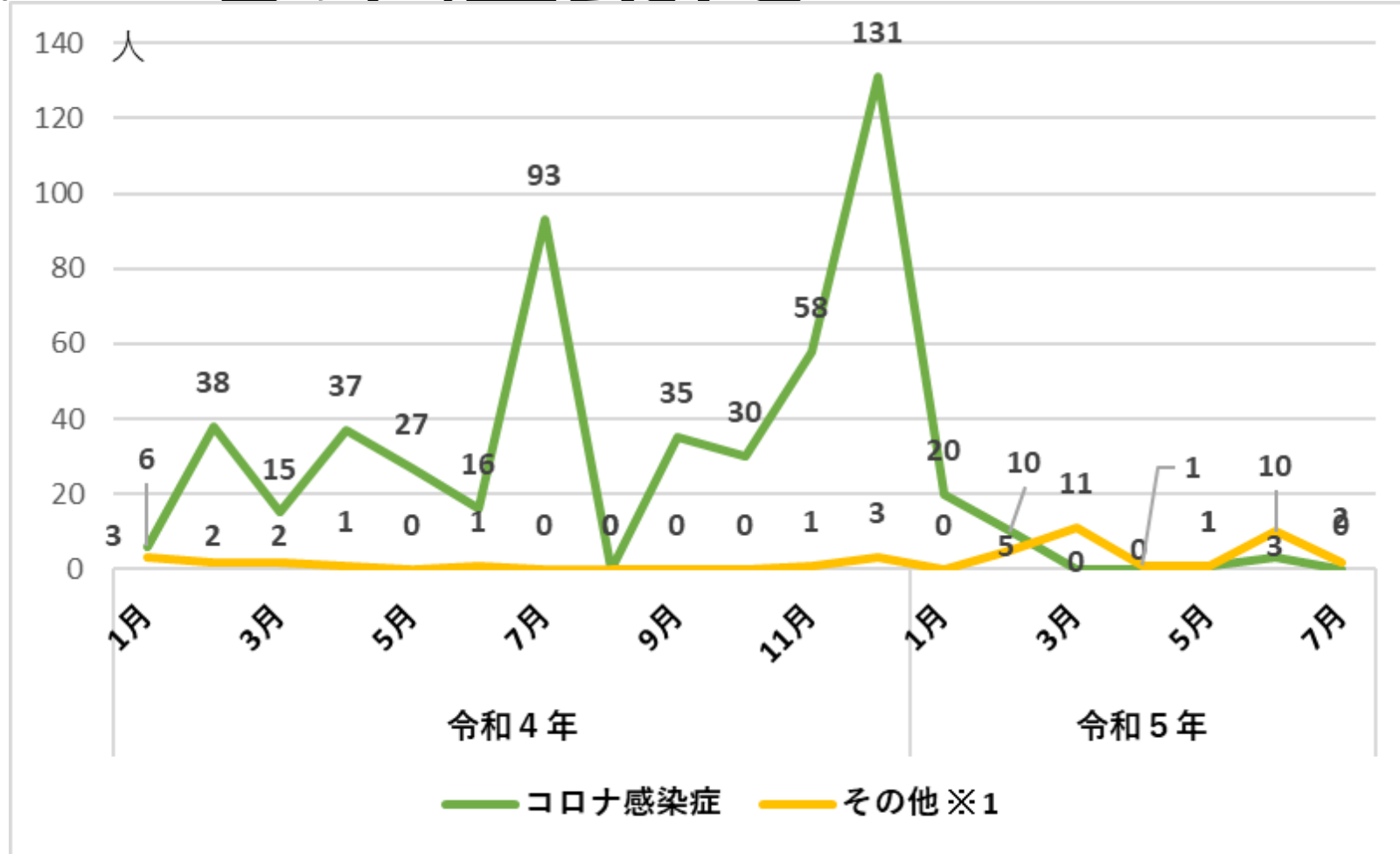


## 2 令和5年度医療機関受診内訳

(人)



# IV 感染症動向 (令和4年1月6日～令和5年7月20日)



令和2年度以来ほとんどは、コロナ感染症。令和4年7月、12月、1月にり患する児ヘルパンギーナが増加。学級閉鎖も出ました。※1は、インフルエンザ・マイコプラズマ性肺炎・手足口病・流行性耳下腺炎等。その中でもインフルエンザが多く、今年2月頃から出始め、6月には、6年生で学級閉鎖。その他の感染症は、4月以降がぽつぽつと発生。ヘルパンギーナは、東京都は、流行中ですが、本校では、まだ1件です。

# V 保健室感染症対応継続中



廊下：けがの手当て



保健室内：体調不良者・受診を要するけが等保護者お迎え待ち

感染症の動向のとおり、今現在、「コロナ」「インフルエンザ」そして、風邪などの発熱者は、少なくありません。保健室内でも「2mの間隔をとる」「換気」「ソファ・椅子など使用後は消毒」「共有は避ける」「手当する際は、手袋着用もしくは手当前後の手洗い実施」等感染症予防対策を実施。その中で熱中症疑いや頭痛・腹痛などの体調不良者・受診するようなけがの児童も来室するので**保健室待機者が4名以上にならないように、教室での学習継続が難しい場合は、保護者の方に迎えにきてもらうなどのご協力をお願いいたします。**